**＜今後のスケジュール＞**

資料３

〇手話言語条例評価部会との関係

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 名称 | 役割 | 開催頻度 | 備考 |
| 専門分科会 | 専門的な知見等を元にした必要な実証、提言及び助言 | 必要に応じて開催 | 必要な実証が得られると、仮説が立証される  ⇒　手話を言語として獲得・習得することの重要性が明確になる |
| ⇒　実施しなければならない施策の整理・反映が可能になる  （府の役割） |
| 手話言語条例評価部会 | 府から施策実施状況の報告を受け、評価をする | 毎年開催 | 専門分科会の報告を受けることは必須ではないが、上位機関として提言内容等の確認を行う |

〇スケジュール案

※日本財団助成事業の研究結果を基に提言等を受け、施策に反映させるため、専門分科会の設置期間は助成期間に準拠